

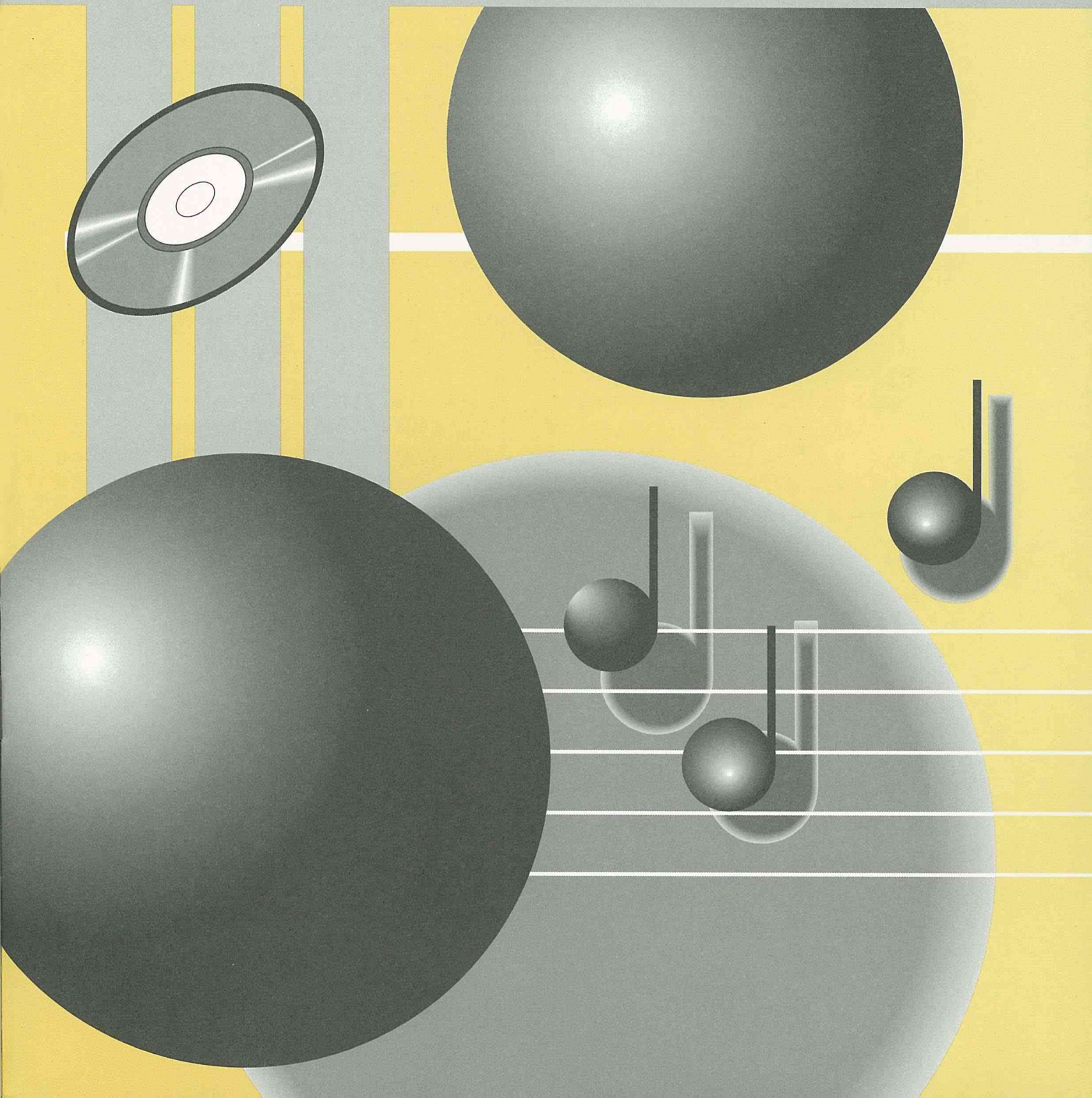
THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

- 1996年レコード生産実績まとまる
- WIPO実演・レコード条約について
- アジアミュージックフェスティバル開催

1997.2

No.447



W I P O 実演・レコード条約について

1996年12月2日～20日、スイスのジュネーブでW I P Oの外交会議が開催され、「W I P O著作権条約」と「W I P O実演・レコード条約」の2つの条約が採択されました。

W I P O実演・レコード条約中、特にレコード製作者に関係する条文の概要は以下のとおりです。

1. 複製権 (第11条)

「レコード製作者は、方法や形式を問わず、直接または間接にそのレコードを複製することを許諾する排他的な権利を有する」ことが採択されました。これは、日本の現行著作権法で規定されている複製権と同じ内容の権利であるため、国内法の改正は必要ありません。今回の外交会議では、一時的な蓄積を複製に含めることについてはコンセンサスが得られなかったため、従来の範囲の複製のみに対する権利とされました。

2. 頒布権 (第12条)

頒布権／輸入権として専門家委員会で検討されましたが、外交会議では、頒布権のみとされました。日本の現行著作権法は、レコード製作者に頒布権を与えていないため、著作権法の改正が必要となります。同条第1項は、「販売若しくは他の権利移転によって、レコードのオリジナル若しくはそのコピーを、公衆に提供することを許諾する排他的権利を有する」と規定し、第2項で、その権利の消尽（消滅）の条件については各締約国が決定できる旨を定めています。

3. 貸与権 (第13条)

商業目的のレコードの貸与については、「レコード製作者はこれを許諾する排他的権利を有する」ことが原則ですが、「公正な報酬請求権制度を有し、且つ、複製権に重大な影響を与えない限り、そのような制度を有する国は、これを維持することができる」旨が採択されたため、日本のレコード・レンタルは現状のまま継続されることになります。従って、日本は法改正の必要はありません。

4. 公衆の利用を可能にする権利 (第14条)

インタラクティブ送信に関する権利を新設するので、送信行為そのものではないものの、サーバー等にレコードをアップロードする行為に対して、レ

コード製作者の排他的権利が認められることになりました。

インターネット放送は、受信者がサーバーにアクセスしなければ視聴できないため、「放送」ではなく、インタラクティブ送信であるため、このようなインタラクティブ通信を可能とするサーバー等へのアップロードには、この権利が発生することになります。

この権利は今回の条約によって初めて導入されるものであるため、法改正が必要となります。

5. 放送及び公衆への伝達に関する報酬請求権(第15条)

商業用レコードを直接的／間接的な方法により、放送や公衆への伝達に使用することについて、レコード製作者が報酬請求権を有することが合意されました。この条文の対象となるレコードの使用には、レコードの演奏使用も含まれており、国際条約によってこの権利が確立しました。

しかし、日本では、著作権者のレコード演奏権が著作権法の附則第14条によって制限されており、同条の廃止問題が検討下にあるという状況であるため、当面、この権利をレコード製作者に認めるための法改正は予定されていないようです。

6. 技術的措置に関する義務 (第18条)

「実演家やレコード製作者が権利を行使することに関して有効な技術的措置を講じている場合、実演家やレコード製作者の許諾や法律による許可のない迂回行為に対し、十分な法的保護と効果的な救済措置を規定すること」が採択されました。

この点については、法改正が必要となります。

7. 権利管理情報に関する義務 (第19条)

「電子的手段による実演家やレコード製作者の権利管理情報を、情を知って又は情を知り得る状況の下で、①許諾なく除去又は改竄したり、②このような権利管理情報が除去又は改竄されたことを知りながら、許可を得ずにこのような実演やレコードを頒布、輸入、放送等に利用することに対し、十分且つ効果的な法的救済措置を規定すること」が合意されました。

この点についても、法改正が必要とされます。

DVD同盟と国際レコード産業 DVDオーディオ規格で話し合い継続を確認

DVD同盟と国際レコード産業は、DVDオーディオの規格について、精力的に検討・調整を続けてきましたが、昨年中に最終的合意に至らなかったことから、97年も継続して協議を続けていくこととし、昨年12月23日付でRIAA（米国レコード協会）より、これまでの経緯・背景を中心に以下の発表が行われました。

DVDオーディオワーキンググループとレコード産業代表国際運営委員会ISC（編注：IFPI、RIAA、RIAJの3団体で組織する委員会）は、1996年12月12日ロサンゼルスにおいて、新しいDVDオーディオ規格の技術標準を議論するための4回目となる会議を開催しました。会議の代表は、基本構成と議題が生産的かつ協力的な関係のもとに確立されたことを共同発表しました。

会議がこれまで4回開催されてきたなかで、新規のオーディオ規格の作成の複雑さが指摘され、追加作業が必要となりました。このため、双方のグループは1997年においても協議の継続を希望しましたが、完成への確実なタイムテーブルは公表されませんでした。しかし、双方のグループは最終的に採用された技術スペックが録音アーティストやリスナーにとって魅力あるものになることを確信しています。

背景

1995年12月、DVD同盟は次世代オーディオ技術の標準化のため、DVDオーディオワーキンググループを組織し、日本ビクターを議長会社に任命しました。DVD同盟は日立、日本ビクター、松下電器、三菱電機、フィリップス、パイオニア、トムソンマルチメディア、ソニー、タイムワナー、東芝の10社で構成されます。

1995年末、米国レコード協会（RIAA）、国際レコード産業連盟（IFPI）、日本レコード協会（RIAJ）の代表で組織される国際運営委員会ISCは、DVD技術に対する徹底的な見解と評価を

開始しました。この結果は、新しいDVDオーディオ規格に対する国際レコード産業の推奨技術要求という形でDVD同盟に出されることになりました。現在まで、両者はこの要求内容を議論するため4回の会議を開催、この会議の精神は生産的かつ協力的なものでした。

ISCの推奨技術要求は次の2つの基本精神から成り立っています。すなわち創作者達の関心を得ることのできる著作権擁護を実現すること、産業が新しい規格を考える一方で、CDに対する消費者の強い信頼を維持することです。

著作権擁護に関するISCの推奨技術要求は、著作権管理のための方式の開発を目指すことであり、これは完全な著作権擁護を実現するもので、特にインターネットやダイレクト衛星サービスなどの新しいデジタル伝送サービスの緊急度を考慮したものでなければなりません。

CDに対する消費者の信頼性維持では、ISCは2つの規格がハードウェアとディスクの両方で互換があるようなハイブリッドDVD/CDディスクの開発を推奨しています。

ISCとDVDオーディオワーキンググループは、次世代オーディオ規格の標準化という目的のために、ISCの推奨技術要求に含まれる様々な問題に関して、現在も、密接な協力のもとに作業を継続しています。

（1996年12月23日付RIAAニュースより）

これに伴い、当協会では、97年も技術委員会（富塚勇委員長）を中心に対応し、昨年取りまとめられた権利擁護を前提としたレコード産業としての推奨技術の確立に力を注いでいきたいと思います。

DVDオーディオ規格化への歩み

1995 12 DVD同盟オーディオワーキンググループ
結成(WG4)

（レコード産業に対して技術要求の提出を
要望）

1996 1 第1回ISC会議（於ロンドン）

4 第2回ISC会議（於ニューヨーク）

5 第6回国際レコード技術会議（於東京）
（13項目推奨技術要求まとめる）

5 第1回ISC-WG4会議（於東京）
（同要求提出）

7 第2回ISC-WG4会議（於ロサンゼルス）

10 第3回ISC-WG4会議（於ロサンゼルス）

12 第4回ISC-WG4会議（於ロサンゼルス）

1997 2 第3回ISC会議（於ロサンゼルス）

ASIA MUSIC FESTIVAL IN TOKYO '96開催

(財)音楽産業・文化振興財団主催、通産省、文化庁、日本自転車振興会後援の「アジア・ミュージック・フェスティバル・イン・トウキョウ'96」が、12月17日～18日の2日間にわたり、東京都渋谷区のオン・エアー・イーストにおいて盛大に開催されました。

今年で5年目となる本フェスティバルは、青少年の健全な育成、音楽を通じての文化交流、音楽産業の振興などを目的とし、日本を含むアジアの一流のアーティストが同じステージで競演し、連日熱気にあふれたステージを繰り広げ、満員の音楽ファンを魅了させました。

なお、2日間の出演アーティストと入場者数は以下のとおりです。

12月17日 (火) 東京スカパラダイスオーケストラ
エルフィ・スカエシ

DJ KRUSH

ナット・ミリア

入場者数 1,000名

12月18日 (水) 遊佐 未森

区麗情

Jasmine With This Time

入場者数 900名



この「アジア・ミュージック・フェスティバル・イン・トウキョウ'96」は、日本自転車振興会より、「競輪公益資金」の補助を受けて開催されました。

1997年当協会新年会開催

本年も、1月7日(火)午後4時から、東京都千代田区永田町のキャピトル東急ホテル「真珠の間」において、恒例の当協会新年会が盛大に開催されました。

当日は、国会議員の方々を始め、関係諸官庁、マスコミ、関係団体、販売流通業界から多数の方々が、出席され、例年同様、一切のセレモニーを省いて、賀詞交換とご歓談の場として、和やかな一時を過ごしました。会員各社の出席者を含め、約650名の方々が一堂に会し、新年の挨拶を交わし合い、晴れやかな新年会となりました。

また、来年1998年の新年会は、1月6日(火)午後

4時より同じ会場で開催予定です。

なお、政務ご多忙の中、ご出席いただいた国会議員は、荒木清寛、小野清子、小杉隆、小林興起、島村宜伸、森喜朗の6名の先生方です。(五十音順)



音の日記念「日本プロ音楽録音賞1996」授賞式開催

毎年12月6日を「音の日」と定め、この日のイベントとして(社)日本音楽スタジオ協会、(社)日本オーディオ協会、(社)日本放送協会、(社)日本民間放送連盟の協賛により、「日本プロ音楽録音賞」の授賞式が開催されています。今年で第3回目を迎える今回は、東

京・虎ノ門パストラルにて、盛大に開催されました。今年のプロ音楽録音賞は、126名の参加により58作品の応募がありましたが、今年から新たに審査対象となった海外審査の部を含めた7作品が受賞いたしました。受賞作品、受賞者は以下のとおりです。

受賞作品と録音スタッフ

<国内審査の部>

パッケージメディア

オーディオコースティック部門

「第4楽章 Rondo: Grazioso」 清水 和音(p)

ピアノソナタ第2番(ベートーベン) ソニーレコード
SRCR1681からレコーディングエンジニア 内藤 哲也
(ソニー・ミュージックエンタテインメント)マスタリングエンジニア 内藤 哲也
(ソニー・ミュージックエンタテインメント)アシスタントエンジニア 亀龍 恒太
(サウンドクリエイターズ)

「UNDER THE SUNSHINE」 Ryu Nakamura

Down the Line ファンハウス FHCF2314から

レコーディング&ミキシングエンジニア 深尾 浩太郎
(バーディハウス)マスタリングエンジニア 藤田 厚生
(バーディハウス)

パッケージメディア

オーディオノンコースティック部門

「バケーション」 飯島 真理 (VOCAL)

グッド・メディスン east west japan AMCM4260から

ミキシングエンジニア 秋元 秀之
(ビクターエンタテインメント)

レコーディングエンジニア Steve Sykes

アディショナルレコーデッド James & Mari

マスタリングエンジニア Wally Traugott

「KIDS RETURN」

久石 譲

キッズ・リターン ポリドールPOCH1576から

レコーディングエンジニア 浜田 純伸 (ワンダーステーション)

アシスタントエンジニア 石原 裕也 (ワンダーステーション)

マスタリングエンジニア 福井 末憲 (ポリグラム)

放送メディア

放送部門

「演歌の花道」石川さゆり、吉 幾三、高山 巖 テレビ東京 1996年

7月14日放送

レコーディングエンジニア 芝本 孝幸 (テレビ東京)

<海外審査の部>

パッケージメディア

オーディオコースティック部門

「お慈悲深い神様」 中丸 三千繪 (歌)

歌に生き、愛に生き 東芝EMI TOCE8750から

(イタリヤ・オペラ・アリア集)

レコーディングエンジニア 池田 彰 (東芝EMI)

アシスタントエンジニア Phil Rowlands

(アービーロード・スタジオ)

オーディオノンコースティック部門

「バケーション」

飯島 真理 (VOCAL)

グッド・メディスン east west japan AMCM4260から

ミキシングエンジニア 秋元 秀之
(ビクターエンタテインメント)

レコーディングエンジニア Steve Sykes

アディショナルレコーデッド James & Mari

マスタリングエンジニア Wally Traugott

第11回日本ゴールドディスク大賞授賞式の実施について

当協会では、「第11回日本ゴールドディスク大賞授賞式」を以下のとおり実施いたします。

人々の音楽嗜好が個別化し多様化している昨今の状況で、あらゆるアーティストや作品を公平に評価するのは大変難しい状況にあります。「日本ゴールドディスク大賞」の選定基準は、正味売上(総出荷数から返品数を差し引いたもの)によるもので、レコードの売上数字という客観的データによって、”いま日本で最も親しまれているアーティストと作品”を選出する権威ある賞です。

昭和62年から続いて、すっかりおなじみとなった「日本ゴールドディスク大賞授賞式」は、今年もセレモニーと受賞者のライブ演奏とで構成され、その模様はNHK衛星第2放送でも生中継される予定です。

なお、下記の要領にて、一般の方の観覧のご希望を受け付けておりますので、併せてご案内させていただきます。

記

日 時 平成9年3月5日(水) 午後7時開演

会 場 NHKホール(東京・渋谷)

観覧申込方法(観覧無料)

官製往復はがきの往信用裏面と返信用表面に、郵便番号、住所、氏名を明記してお申し込みください。(1枚で1名分)

あて先 〒150 東京都渋谷区宇田川町41-1

NHKサービスセンター

「第11回日本ゴールドディスク

大賞授賞式」公開係

締め切り 平成9年2月18日(火) 必着

申し込み多数の場合は抽選となります。

放送日時 ・NHK衛星第2テレビ(生放送)

平成9年3月5日(水) 午後7時～

・NHK総合テレビ

平成9年3月8日(土) 午後7時30分～

問い合わせ先 社団法人 日本レコード協会

TEL 03-3541-4411

1996年レコード生産実績とまる

1996年1年間（1～12月）のレコード生産実績の概況がまとまりました。1996年のレコード産業は、例年になく厳しい年となりました。

オーディオ、AV複合型、ビデオを合わせた総生産数量では、前年比105%の5億9,251万2,000枚・巻でしたが、総生産金額では前年比99%の7,252億5,900万円となり、前年実績を下回りました。これは、オーディオディスク生産が第4四半期で3か月連続前年実績を下回ったことと、ビデオレコードが年間で前年実績を大きく下回ったこと等に起因します。

オーディオレコード（CD、アナログディスク、オーディオテープ）の生産数量も、4億7,230万5,000枚・巻と、前年比101%に止まり、生産金額でも前年比102%の5,838億6,200万円となっています。

コンパクトディスクでは、8、12cm共、洋盤が前年実績を割り込みました。邦・洋の合計では、8cmCDは、数量で前年比101%の1億6,629万

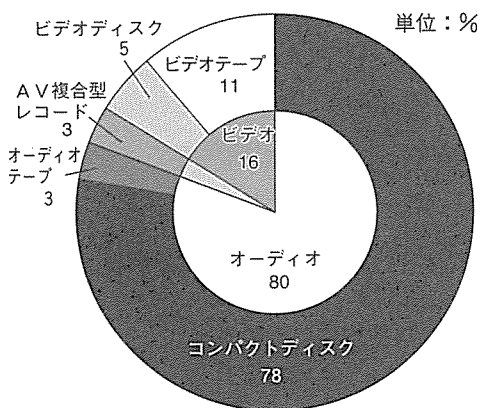
4,000枚、金額で前年比104%の1,044億1,800万円となりました。また、12cmCDは、数量で前年比103%の2億8,255万6,000枚、金額で前年比102%の4,581億6,400万円となりました。この結果、CDは、数量で前年比102%の4億4,884万9,000枚、金額で前年比102%の5,625億8,200万円となりました。

また、オーディオテープは、減少傾向に変わりなく、数量で前年比90%の2,251万2,000巻、金額で前年比91%の199億6,900万円となりました。

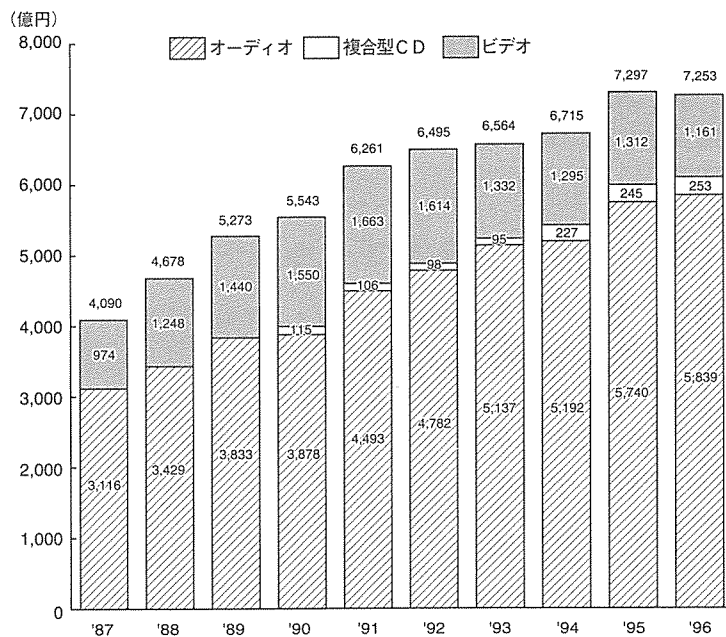
96年に話題となったアナログディスクは、下半期に生産が伸び、数量で前年比177%の94万4,000枚、金額で前年比149%の13億1,200万円となりました。

CD-ROM、CD-G等を含む複合型CDは、伸びが鈍化しており、数量では前年比143%の8,511万3,000枚でしたが、金額で前年比104%の253億2,600万円となりました。

1. 1996年生産金額比率



2. レコード生産金額10年の推移



(注) 数値は四捨五入により内訳と合計が一致しない場合がある

■会員社・関係団体事務所移転のお知らせ

アルファミュージック(株)

〒106 東京都港区南麻布5-1-1 PLAZA KAY
TEL 03-5475-7068(代) (2月3日より)

(社) 日本音楽著作権協会

〒151 東京都渋谷区上原3-6-12
TEL 03-3481-2121(代) (1月13日より)

日本音楽作家団体協議会

〒151 東京都渋谷区上原3-6-12
TEL 03-3481-2121(代) (1月13日より)

(社) 私的録音補償金管理協会

〒163-14 東京都新宿区西新宿3-20-2

東京オペラシティタワー11階

TEL 03-5353-0336(代) (1月27日より)

(社) 日本芸能実演家団体協議会

〒163-14 東京都新宿区西新宿3-20-2

東京オペラシティタワー11階

TEL 03-5353-6600(代) (2月3日より)

HIT CHART DATA 1996年12月度(96年11月21日～96年12月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
----	------	--------	-----	-----

■邦楽・洋楽合同シングル BEST7

1. a walk in the park	安室奈美恵	96.11.27	(AVT)
2. PRIDE	今井美樹	96.11.4	(FL)
3. YES～free flower～	MY LITTLE LOVER	96.12.2	(TF)
4. アンバランス	大黒摩季	96.12.2	(BG)
5. 樂園	THE YELLOW MONKEY	96.11.25	(FUN)
6. STEADY	SPEED	96.11.18	(TF)
7. さよならの瞬間	松田聖子	96.11.18	(MME)

■洋楽シングル BEST7

1. ラスト・クリスマス	ワム!	93.11.21	(SME)
2. トゥルー・ラヴ	エルトン・ジョンwithキキ・ディー	96.12.9	(MME)
3. アヴェ・マリア	カーペンターズ	96.11.21	(PO)
4. チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.7.25	(WJ)
5. TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオンwithクライズラー&カンパニー	95.10.21	(SME)
6. What A Difference A Day Makes	ニール・セダカ	96.11.21	(PC)
7. 恋人たちのクリスマス	マライア・キャリー	94.10.29	(SME)

■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7

1. Friends II	B'z	96.11.25	(BM)
2. LA・LA・LA LOVE THANG	久保田利伸	96.12.2	(SME)
3. TRIAD YEARS act I	THE YELLOW MONKEY	96.12.7	(C)
4. GOLDEN Q	シャ乱Q	96.12.18	(BMG)
5. MAXIMUM	MAX	96.12.11	(AVT)
6. そうだよ／誘惑	Dreams Come True	96.11.25	(SME)
7. BALLADS	T-BOLAN	96.12.12	(ZA)

■クラシックアルバム BEST7

1. ave maria	SLAVA	95.12.1	(V)
2. バヴァロッティ&フレンズ/フォー・ザ・ウォー・チャイルド	バヴァロッティ 他	96.11.25	(PG)
3. Vocalise	SLAVA	96.10.23	(V)
4. マーラー：交響曲第5番	ブルーース指揮/ウィーン・フィル	96.11.30	(PG)
5. 小室哲哉クラシック・セレクション「SAGA」	オムニバス	96.12.12	(SME)
6. フォーレ：レクイエム	小澤征爾指揮/ボストン交響楽団	96.12.18	(BMG)
7. 近藤嘉宏/1996	近藤嘉宏	96.11.21	(C)

■洋楽アルバム BEST7

1. ザ・ベスト・オブ・ミスター・ビッグ	MR.BIG	96.11.25	(EW)
2. アルフィー〜ベスト・オブ・ヴァネッサ・ウィリアムス	ヴァネッサ・ウィリアムス	96.12.9	(MME)
3. スキャットマンII	スキャットマン・ジョン	96.11.21	(BMG)
4. チェンジズ	PANDORA	96.11.21	(MV)
5. MEGA HITS 3	ロス・デル・リオ 他	96.12.4	(BMG)
6. 「天使の贈りもの」オリジナル・サウンドトラック	ホイットニー・ヒューストン	96.12.14	(BMG)
7. サンタ・マリア	タジャーナ	96.11.27	(CT)

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイチク(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパンコミュニケーションズ(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/マーキュリー・ミュージックエンタテインメント(MME)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/バンダイ・ミュージックエンタテインメント(BME)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トーラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファミュージック(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGジャパン(BMG)/NECアベニュー(NA)/メルダック(ME)/TDKコア(TDK)/トイズ・ファクトリー(TF)/パイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロックイットレコード(RO)/エイベックス・ディーディー(AVT)/ヴァインレコーズ(ZA)/ポリグラム(PG)/ルームスレコーズ(BM)/ビーグラムレコーズ(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)/カッティング・エッジ(CT)/ヴェルファーレ(VF)/バルコ(QT)

GOLD ALBUM他 認定作品 1996年12月度(96年11月21日~96年12月20日)

■アルバム (32作品)

【邦 楽】

●クワドラル・プラチナ

FRIENDS II / B'z / 96.11.25 (BM)

●ダブル・プラチナ

BELOVED / GLAY / 96.11.18 (PO)

LA・LA・LA LOVE THANG / 久保田利伸 / 96.12.2 (SME)

TRIAD YEARS act I - THE VERY BEST OF THE YELLOW MONKEY / THE YELLOW MONKEY / 96.12.7 (C)

回帰線 / 尾崎豊 / 91.5.15 (SME)

●プラチナ

GOLDEN Q / シャ乱Q / 96.12.18 (BMG)

そだよ / 誘惑 / DREAMS COME TRUE / 96.11.25 (SME)

BALLADS / T-BOLAN / 96.12.12 (ZA)

TRUE / ラルク・アン・シェル / 96.12.12 (SME)

Yumi Arai The Concert with old Friends / 荒井由実 / 96.12.7 (TO)

J・A・M / JUDY AND MARY / 94.1.21 (SME)

MAXIMUM / MAX / 96.12.11 (AVT)

STANDARD / 藤井フミヤ / 96.12.16 (PC)

●ゴールド

TIME CAPSULE all the singles / TMN / 96.12.12 (SME)

RIPPLE / 高橋真梨子 / 96.5.2 (V)

Best of My Life / 森口博子 / 95.11.22 (K)

NEON GENESIS EVANGELION / TVサウンドトラック / 95.12.6 (K)

GREETING / V6 / 96.12.2 (AVT)

Tigermobile / THE HIGH LOWS / 96.12.6 (KT)

【洋 楽】

●2ミリオン

メリー・クリスマス / マライア・キャリー / 94.10.29 (SME)

●ダブル・プラチナ

NOW5 / スパイス・ガールズ / 96.11.7 (TO)

Travelling Without Moving ~ ジャミロクワイと旅に出よう ~ / ジャミロクワイ / 96.9.11 (SME)

MAX3 / ジャミロクワイ他 / 96.11.11 (SME)

グレイテスト・ヒッツ / ヴァン・ヘイレン / 96.10.17 (WJ)

●プラチナ

ザ・ベスト・オブ・ミスター・ビッグ / MR.BIG /

96.11.25 (EW)

アルフィー〜ザ・ベスト・オブ・ヴァネッサ・ウィリアムス / ヴァネッサ・ウィリアムス / 96.12.9 (MME)

DANCEMANIA3 / E-ROTIC他 / 96.10.9 (TO)

●ゴールド

スキャットマン II / スキャットマン・ジョン / 96.11.21 (BMG)

チェンジズ / PANDORA / 96.11.21 (MV)

MEGA HITS3 / ロス・デル・リオ他 / 96.12.4 (BMG)

「天使の贈りもの」オリジナル・サウンドトラック / 96.12.14 (BMG)

サンタ・マリア / タジャーナ / 96.11.27 (CT)

■シングル (20作品)

【邦 楽】

●トリプル・プラチナ

PRIDE / 今井美樹 / 96.11.4 (FL)

恋心 / 相川七瀬 / 96.10.7 (CT)

●ミリオン

YELLOW YELLOW HAPPY / ポケットビスケッツ / 96.9.4 (TO)

Can't Stop Fallin'in Love / globe / 96.10.30 (AVT)

●ダブル・プラチナ

STEADY / SPEED / 96.11.18 (TF)

●プラチナ

アンバランス / 大黒摩季 / 96.12.2 (BG)

a walk in the park / 安室奈美恵 / 96.11.27 (AVT)

楽園 / THE YELLOW MONKEY / 96.11.25 (FUN)

激情 / 工藤静香 / 96.11.7 (PC)

YES-free flower- / MY LITTLE LOVER / 96.12.2 (TF)

●ゴールド

さよならの瞬間 / 松田聖子 / 96.11.25 (MME)

ごめんね... / 高橋真梨子 / 96.6.21 (V)

コマソン№1 / ウルフルズ / 96.12.11 (TO)

Lies and Truth / ラルク・アン・シェル / 96.11.21 (SME)

紅 / 藤あや子 / 96.8.21 (SME)

Mystery of Sound / 円谷憂子 / 96.12.4 (TO)

鳴門海峡 / 伍代夏子 / 96.4.21 (SME)

珍島物語 / 天童よしみ / 96.2.21 (TE)

LEGEND OF WIND / TRF / 96.12.11 (AVT)

まだ生きてるよ / 槇原敬之 / 96.11.18 (WJ)

WIPO外交会議へのIFPIコメント

「400億ドルの規模を有するレコード産業のオン・ライン市場への投資に対する基本的な法的枠組みを、地球規模の2つの著作権条約が確実にする」と、IFPI（国際レコード産業連盟）は発表しました。

IFPIは、デジタル時代における著作権の新しいルールを描く、この30年来で最も重要な国際著作権交渉の結論を歓迎しています。新条約は、レコード製作者とアーティストが、録音物をデジタル・ネットワークを通じて世界中の何百万という消費者に提供することを可能にします。それらは、電子市場で増加する海賊版の驚異からレコード会社を守り、国際的な情報社会の開発を地球規模で進めることになるでしょう。

WIPOの外交会議は、ジュネーブで3週間に亘る交渉を通じて、3つのうち2つの条約（ベルヌ条約プロトコルとレコード製作者とレコーディング・アーティストの権利を拡大する条約）について結論を出しました。データベース製作者に独自の権利を与える第3の条約は、来年に持ち越されました。

レコード製作者の関心事は、インターネットへの莫大な投資潜在性を実現するために必要な著作権保護が確保されるかどうかであって、海賊版と十分でない権利執行に対する不幸な可能性ではありません。この点において、今回の条約は、権利者にとって好ましい結果をもたらしました。

レコード産業にとって4つの優先事項は、ジュネーブで決着しました。それらは、主に、2つ目の条約に含まれています。

・音楽のオン・ライン配信に対する排他的な権利—欧州では、5年以内に音楽市場の15%を占めると、小売業界は予測。

・音楽産業における電子的暗号システムの使用を支持し、著作権侵害を止める強い法的権利—これらのシステムを迂回させる装置の製造、販売、頒布を違法とするための基盤を提供するものです。

・情報化社会での違法コピーのリスクの増大に対応したより強い権利。—これらは、大量頒布において完全な品質の複製物を作り出すことができるデジタル・オンライン環境における著作権が、権利者にとって、アナログ市場よりも大きな商業的な意味を持つという事実を認めるものです。

・レコード産業は、現在のアナログ市場と同様の排他的な複製権をデジタル市場で有するようになることの確認—これは、レコード産業にとって特定の新しい複製権を求めた当初の提案に対し、満足のいく代替案です。著作権侵害の責任問題に対する通信事業者の不当な反論が条約全体に脅威をもたらす一方、権利者が妥協できない重要な権利が積み残されました。

(IFPIプレス'96/12/10)

ビルボード年間チャート

1996年を振り返り、「マカレナ」を知らない人はいないと思います。チャビー・チェッカーの「ツイスト」がポップス・チャートの一位になって以来の社会現象になり、レコードを買う必要もなかったはず。ゴア副大統領らも、スポーツ・イベントの応援で「マカレナ」を踊りまくっていました。

「マカレナ」は、スペインの曲として始めて米国の年間シングル・チャート一位になりました。過去41年間で、一位の栄誉を与えられた楽曲は、アメリカ曲が25曲、イギリス曲が11曲、カナダ曲が2曲です。イタリアは1958年にドメニコ・モドグノの「ヴォラーレ」で、スウェーデンは1994年の「サイン」で、それぞれ一位を獲得しました。「ジャグド・リトル・ピル」は、年間一位のカナダの最初のアルバムです。ロック部門では、1994年に、スウェーデンのエース・オブ・ベースが一位になった以外は、アメリカとイギリス曲が独占しています。

(ビルボード'96/12/28)

会議メモ (主なもの)

(1月1日～1月31日)

- 1・7 新年会
- 1・9 著作権隣接権審議会
- 1・10 レコード制作基準倫理委員会
- 1・10 法制委員会
- 1・10 二次使用料委員会
- 1・14 営業部会

- 1・14 著作権部会
- 1・16 業務委員会
- 1・16 技術委員会
- 1・16 放送委員会
- 1・16 洋楽部会
- 1・20 音楽家ユニオン委員会
- 1・21 ビデオ部会
- 1・22 情報システム部会
- 1・22 Q盤セールプロジェクト
- 1・23 品質管理専門部会

- 1・27 二次使用料委員会
- 1・28 GD審査部会
- 1・29 洋楽企画部会
- 1・29 洋楽宣伝専門部会
- 1・29 制作技術専門部会
- 1・30 JASRAC委員会
- 1・30 邦楽制作部会
- 1・31 GD審査部会
- 1・31 理事会
- 1・31 GD幹事会



レコード生産実績

1996年12月度(96年12月1日～96年12月31日)

1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

		12月実績						1996年(1月～12月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
C	邦洋計	8,295	26	71	4,986	12	89	162,925	36	102	102,584	18	104
	邦洋計	120	0	16	42	0	14	3,368	1	76	1,834	0	93
	邦洋計	8,415	26	68	5,028	12	85	166,294	37	101	104,418	19	104
	邦洋計	14,775	46	95	24,987	59	87	175,320	39	106	302,762	54	105
D	邦洋計	8,534	27	93	12,476	29	93	107,236	24	98	155,402	28	96
	邦洋計	23,309	73	94	37,463	88	89	282,556	63	103	458,164	81	102
	邦洋計	23,070	73	85	29,973	70	87	338,245	75	104	405,346	72	105
	邦洋計	8,654	27	87	12,518	29	91	110,604	25	97	157,236	28	96
アナログ	邦洋計	31,724	100	86	42,491	100	88	448,849	100	102	562,582	100	102
	邦洋計	49	0	218	82	0	196	592	0	194	771	0	177
	邦洋計	40	0	113	61	0	91	352	0	154	541	0	121
	邦洋計	89	0	153	143	0	132	944	0	177	1,312	0	149
合計	邦洋計	23,119	73	85	30,055	70	87	338,837	75	104	406,117	72	105
	邦洋計	8,694	27	87	12,579	30	91	110,956	25	97	157,777	28	96
	邦洋計	31,813	100	86	42,634	100	88	449,793	100	102	563,894	100	102
	邦洋計												

2. オーディオテープ

		12月実績						1996年(1月～12月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
カセット	邦洋計	1,953	99	88	1,617	98	83	22,256	99	90	19,666	98	91
	邦洋計	27	1	104	27	2	108	256	1	86	303	2	99
	邦洋計	1,980	100	88	1,644	100	83	22,512	100	90	19,969	100	91
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カートリッジ	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	1,953	99	88	1,617	98	83	22,256	99	90	19,666	98	91
	邦洋計	27	1	104	27	2	108	256	1	86	303	2	99
	邦洋計	1,980	100	88	1,644	100	83	22,512	100	90	19,969	100	91
	邦洋計												

3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

		12月実績						1996年(1月～12月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	邦洋計	12,535	100	152	2,877	98	77	84,952	100	143	24,721	98	103
	邦洋計	11	0	28	48	2	34	161	0	74	605	2	130
	邦洋計	12,545	100	151	2,926	100	75	85,113	100	143	25,326	100	104
	邦洋計												

4. ビデオレコード

		12月実績						1996年(1月～12月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	邦洋計	1,175	37	84	3,473	32	87	13,018	37	87	38,396	33	88
	邦洋計	1,996	63	66	7,262	68	61	22,077	63	90	77,675	67	89
	邦洋計	3,171	100	71	10,735	100	67	35,095	100	89	116,071	100	88
	邦洋計												

5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

		12月実績						1996年(1月～12月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	邦洋計	33,793	68	86	44,278	76	88	472,305	80	101	583,862	81	102
	邦洋計	12,545	25	151	2,926	5	75	85,113	14	143	25,326	3	104
	邦洋計	3,171	6	71	10,735	19	67	35,095	6	89	116,071	16	88
	邦洋計	49,510	100	95	57,939	100	83	592,512	100	105	725,259	100	99

備考 1. 本年実績は、会員会社「29社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

1996年1～12月新譜数

1996年（平成8年）の1～12月に発売された新譜数を集計し、その構成比率を図示しました。

図1 オーディオレコード新譜数構成比

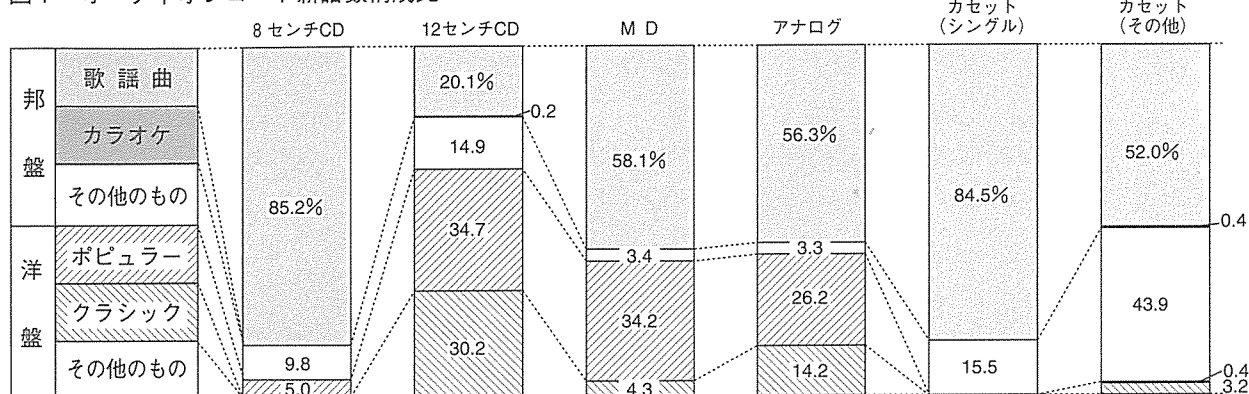


表1 オーディオレコード／複合型レコード（CD-G・CD-I など）新譜数

単位：枚（巻）

種 類	8センチCD	12センチCD	M D	アナログ	D C C	カセ ッ ト		複 合 型		合 計
						シン グ ル	そ の 他	CD-G	そ の 他	
邦 盤	演 歌	459	526	0	0	0	193	190	0	1,368
	ポ ッ プ ス 歌 謡 曲	728	894	0	23	0	54	39	0	1,739
	ニ ュ ー ミ ュ ー ジ ッ ク	977	1,951	68	80	0	4	13	0	3,102
	小 計	2,164	3,371	68	103	0	251	242	0	6,209
	軽 民 謡 ・ 音 純 邦 楽	12	561	0	2	0	5	20	0	600
	教 育 ・ 教 材 ・ 童 謡 ・ 童 話	31	185	0	0	0	29	77	0	322
	ア ニ メ ・ シ ョ ン	16	285	0	0	0	0	64	0	406
	ク ラ シ ッ ク	182	943	0	0	0	12	29	0	1,284
	カ ラ オ ケ	2	297	4	2	0	0	0	12	317
	そ の 他	0	29	0	0	0	0	2	150	429
洋 盤	邦 盤 計	2,413	5,889	72	109	0	297	448	150	9,892
		(102)	(99)	(76)	(118)	(-)	(43)	(34)	(46)	(86)
	ロ ッ ク ・ デ ィ ス コ	65	3,484	27	22	0	0	0	0	3,599
	ジャズ・フュージョン	12	1,187	2	21	0	0	0	0	1,222
	ポピュラーソング	46	692	9	4	2	0	2	0	755
	映画音楽	1	182	2	1	0	0	0	0	186
	その他の	2	261	0	0	0	0	0	0	263
	小 計	126	5,806	40	48	2	0	2	0	6,025
	ク ラ シ ッ ク	1	5,056	5	26	0	0	15	0	5,109
	そ の 他	0	5	0	0	0	0	0	42	47
合 計	洋 盤 計	127	10,867	45	74	2	0	17	0	11,181
		(58)	(111)	(70)	(48)	(3)	(-)	(243)	(-)	(108)

備考：（ ）内は対前年比

図2 ビデオレコード新譜数構成比

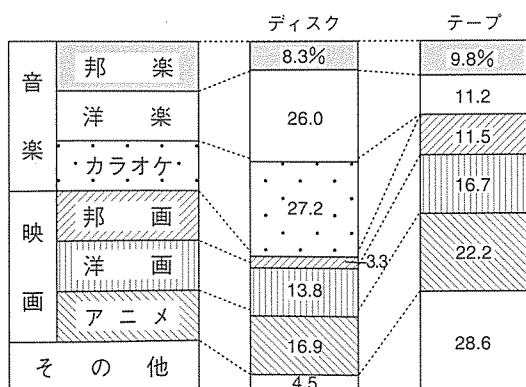


表2 ビデオレコード新譜数

単位：数（巻）

種 類	ディスク	テー プ	合 計
音 楽	邦 楽	142	283
	洋 楽	442	323
	カ ラ オ ケ	462	0
映 画	邦 画	57	331
	洋 画	234	483
	ア ニ メ	287	642
そ の 他	76	827	903
計	1,700	2,889	4,589
	(80)	(97)	(90)

備考：（ ）内は対前年比

THE RECORD 1997年2月号

発行人 高野 宏

編集人 木村 三郎

発行日 1997年2月10日

発行 社団法人日本レコード協会

〒104 東京都中央区銀座7-16-3

日鐵木挽ビル2F

TEL 03-3541-4411(代)

FAX 03-3541-4460(代)